

令和7年度 日本赤十字豊田看護大学キャンパスライフ 大学院アンケート結果

【調査対象】後期に在籍する大学院生

【調査方法】Microsoft Forms を使用した自記式アンケート調査（無記名）

【実施期間】令和8年2月17日（火）～3月6日（金）

【回答率】大学院生 30.8%（修士課程 33.3%・博士課程 27.3%）

（1）アンケート結果の要約

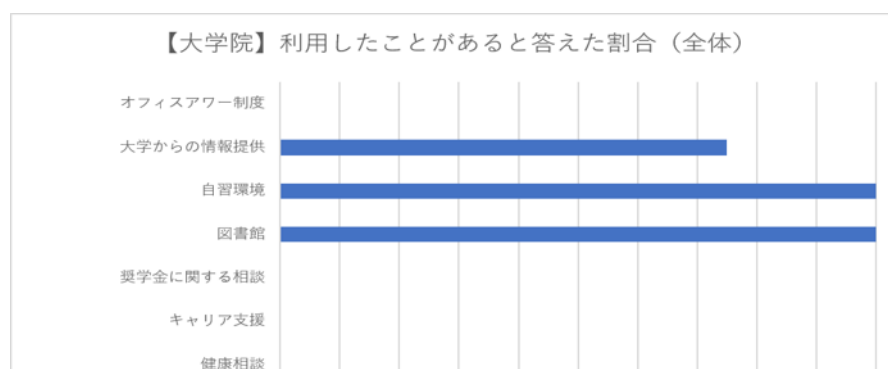
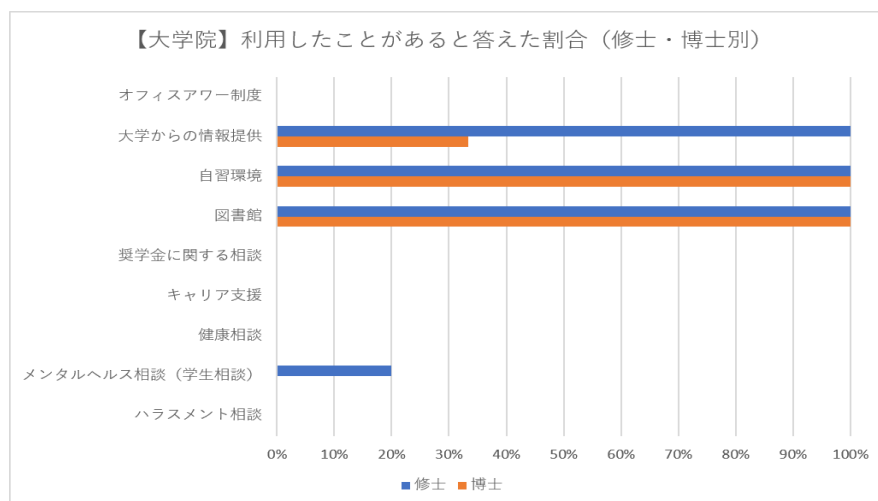
①大学院生の結果と課題

昨年度と同様に、回答率は2～3割にとどまった。「大学からの情報提供」「自習環境」「図書館」は利用割合が高く、満足度および利用しやすさについても概ね高い結果となった。昨年度は、修士課程の学生の約3割が「奨学金に関する相談」「キャリア支援」「健康相談」「メンタルヘルス相談」「ハラスメント相談」について「とても利用しづらい」と回答していたが、今年度は該当する回答はみられなかった。次年度は、調査の回答率を向上させることが課題である。

【大学院】利用満足度

回答者数 修士：5名、博士：3名

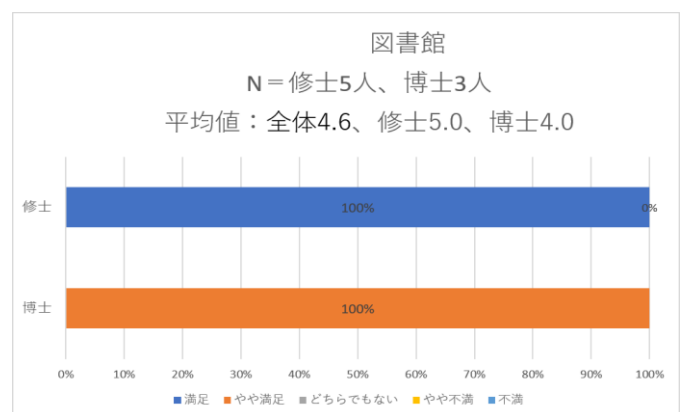
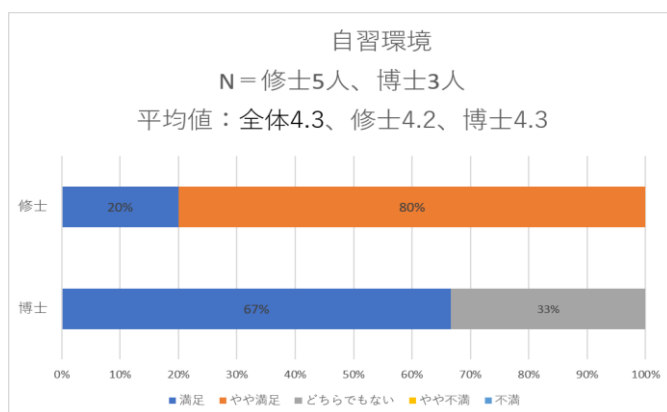
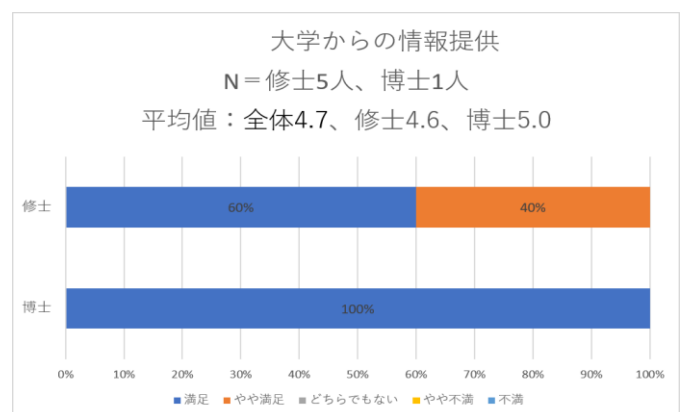
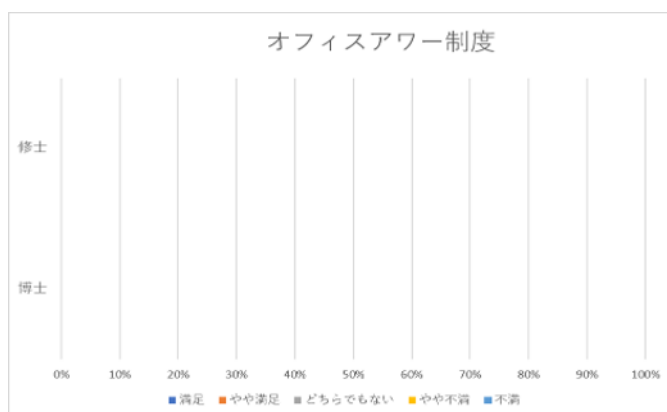
回答率 修士：33.3%、博士：27.3%

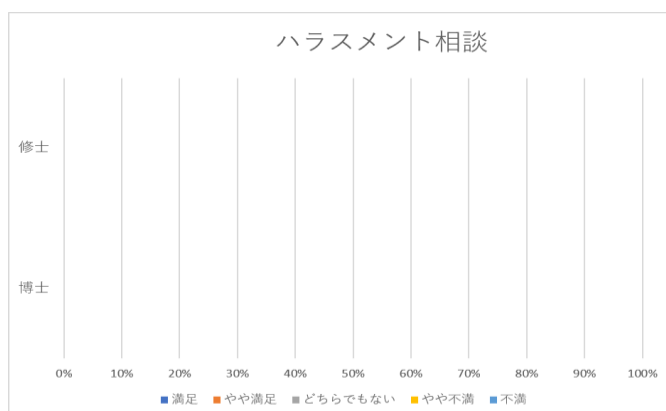
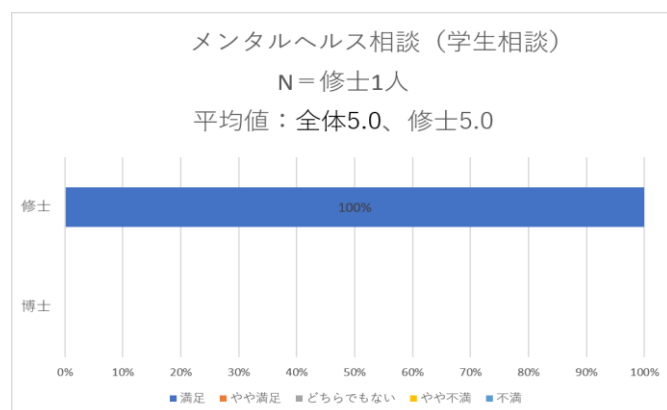
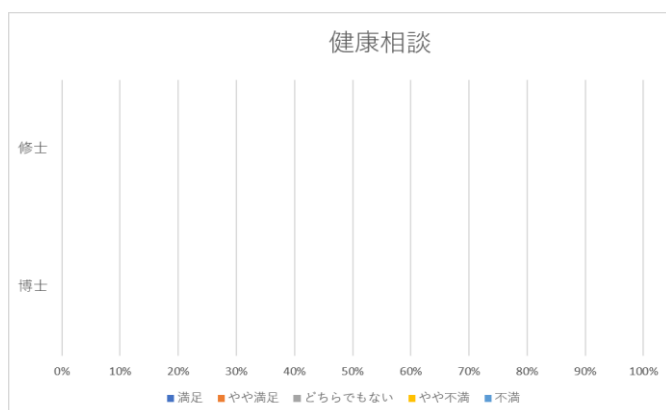


N＝利用したことがあると答えた人数

平均値＝「当該項目に満足したか」に対する回答を、

満足：5、やや満足：4、どちらでもない：3、やや不満：2、不満：1 に換算して算出した。

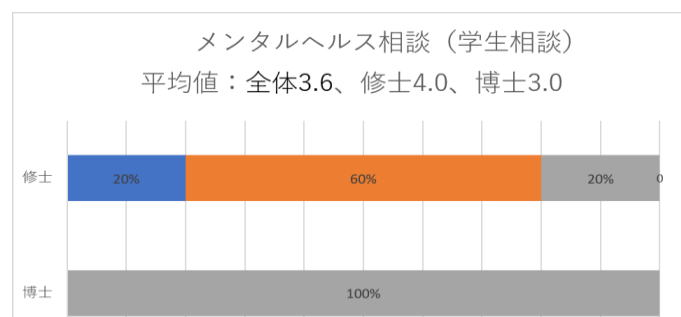
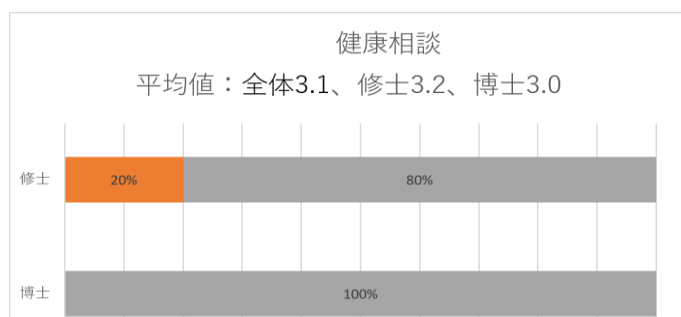
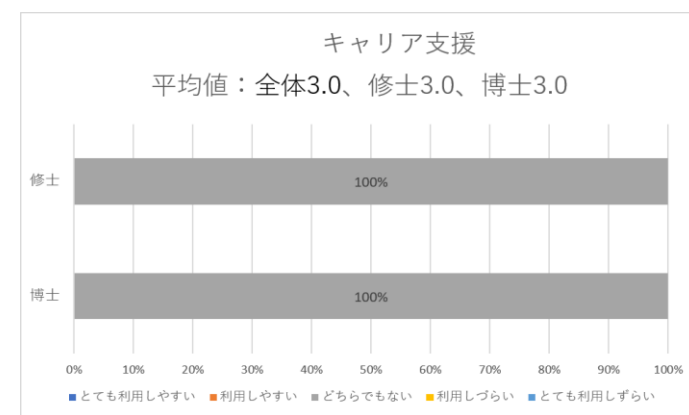
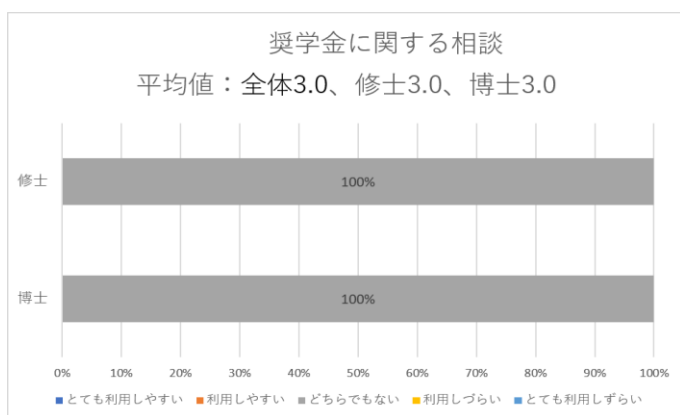
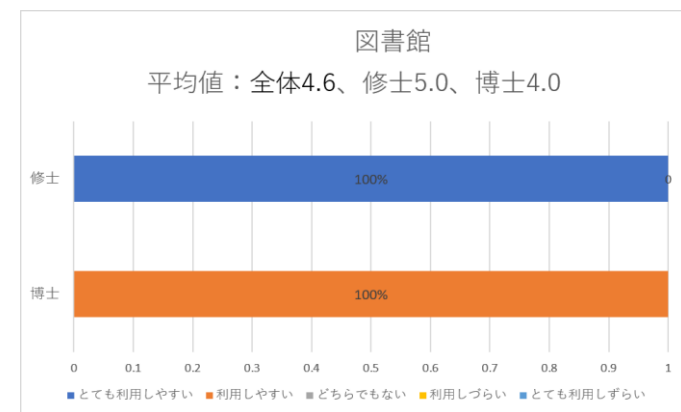
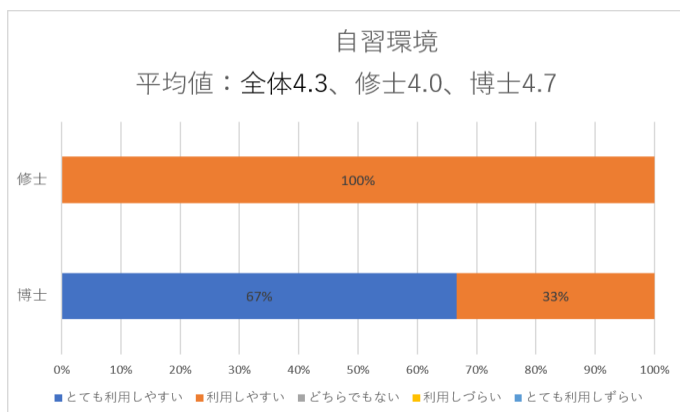
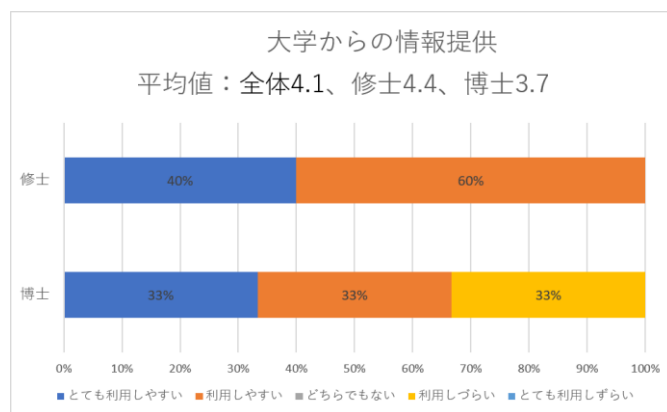
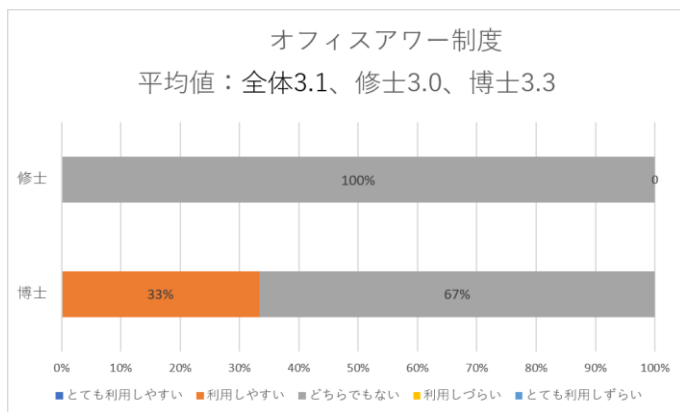


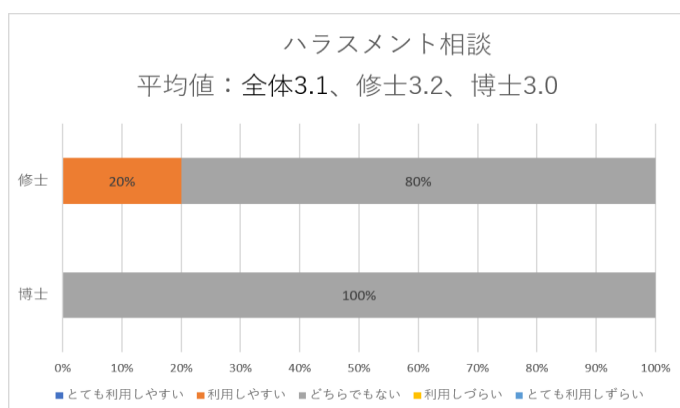


【大学院】利用しやすさ

平均値＝「当該項目の利用しやすさをどう感じるか」に対する回答を、

とても利用しやすい：5、利用しやすい：4、どちらでもない：3、利用しづらい：2、
とても利用しづらい：1 に換算して算出した。





(2) 明らかになった課題と対策

キャンパスライフアンケートでは、大学に対する意見や要望について自由記述欄を設けている。寄せられた主な意見を踏まえ、以下のとおり対応を行った。

学生便覧の電子化について

学生便覧を電子化してほしいとの要望を踏まえ、令和7年度から学生便覧を電子化した。

執筆要領について

修士課程の論文執筆要領について、学生便覧では博士課程の執筆要領に準じることとしているが、修士課程用にまとめたものを別途作成してほしいとの意見があった。学生便覧のデータ容量等を踏まえ、現行どおり博士課程の執筆要領を参照する運用を継続する。